



日中国交正常化50周年企画

『時の記憶』—中国在住の日中カメラマンによる写真展
9月16日～30日迄 富谷市役所1F交流プラザで



先の総会で発表された通り、日中国交正常化50周年を記念した富谷独自の写真展が行われます。これは2018年3月、市役所2Fギャラリーで開催された「中国、いまここにひとつ」(平和友好条約締結40周年記念)に続くもので、上海在住の菅原寿和さん(元富谷日中会員)を中心に、日中両国のカメラマン10人による作品展示となります。大綱は下記の通りですので、皆さん、お楽しみに！！

- <テーマ> 『時の記憶』—中国在住の日中カメラマンによる写真展
- <期間> 9月16日(金)～9月30日(金)まで。
- <会場> 富谷市役所1F交流プラザで
- <その他> 入場は無料。時間は平日8時半～19時。土日祝日は17時まで。

寅(トラ)の諺

「暴虎馮河(ぼうこひょうが)」—暴虎は暴れる虎を手で打つ、馮河は暴れる黄河を歩いて渡る意味。向こう見ずな勇氣、血気にはやって無謀な行動を起こす事の譬え。弟子の子路を戒めた孔子の対話からとっている。(『論語』)

🌿 留学生招き、農業体験(稲刈り等)交流を予定! 🌿

留学生を招待しての農業体験交流会を開催いたします。大綱は下記の通り。富谷日中ラインまたは横山事務局長まで申し込みをお願いいたします。なおコロナ感染拡大の影響で中止となる場合は改めて連絡いたします。ご了解ください。

- ※ 日時 9月18日(日)10時から13時頃まで
- ※ 集合会場 4号線・湯船沢の松田商店整備部(コバック)
- ※ 昼食懇談会費 500円



正常化
50周年
私の想い

「このご縁に感謝して」
理事 浅野 直子

ある著作に、両国の国交正常化にあたり、周恩来総理が「水を飲むときには、井戸を掘った人を忘れてはいけない」という諺を引用

されていました。さらに「歴史の節目に、日中友好の原点を確認することは有益であり、そこから万代の両国の友誼の道が開かれるに違いない」とも記されていました。まさに今、政治的に日中関係がぎくしゃくしている、この時こそ“原点”に立ち返る節目だと思っています。

私は、ご縁をいただき、協会の会合やイベントに参加するようになりました。中国の事は義父母が引揚者のため、話は聞いておりましたが、世間一般の知識しかありません。満州は義父母の人生にとって欠かせない数年間の思いがあったのでしょ。義父の死後、義母88歳の時、自分たちが暮らした黒竜江省ハルビンを訪れてみたいと、訪中しました。私はご一緒できませんでしたが、想像を超える中国の発展、変わりように驚いたようです。そしておそらく平和の重みを実感したのではと思います。

富谷市日中の活動で吉林省での植林や留学生や華人との交流・支援などを四半世紀以上も活動されていることは本当にすごいことだと思います。私もこのご縁を大事にしながら、皆様と共に対話を重ねられるように語学も学びたいと決意もふくらんでいるところです。

『いま中国人は中国をこう見る』
(中島恵著 日経プレミアシリーズ 990円)



私たち海外からは見えにくいのが中国人の本音。コロナ対応、都市部と地方の住み心地、“共同富裕”へのとらえ方、ナショナリズムについて、情報統制? Z世代と日本との関わり等、

匿名を条件に中国在住の中国人、日本人そして日本在住の中国人に語ってもらった“本音”に、中国通のジャーナリストの著者が解説を加え読みやすい。

マスコミ報道の裏側やSNSでの情報の持つ意味も読み取れ、私たちの中国観にも大いに学ぶべき点が多かった新書である。こんな情報が知りたかったかも。手軽に読める一書だ。(M)

👉前号の問—「お茶を教える人？」の答えは「ティチャー」※英語+中国語